

4 単元・授業計画の工夫

(1) CAN-DO リストと Lesson Goal

各単元で CAN-DO リストを Lesson Goal に反映することで、生徒は学習に見通しをもって取り組むことができます。Lesson Goal を達成するためのコミュニケーション活動を段階的に仕組んでいくことで、生徒が学習した内容を、さらに次の段階へ発展させようとする「主体的な学びの姿」を育てることを試みた実践です。

実践学校 N中学校 (学級数：6 生徒数：194)

実践学年 2学年

実践時期 7月上旬

単元・題材名 NEW HORIZON 2年

Unit1 A Friend in a Sister School Unit2 A Trip to the UK

学習指導要領との関連 (1) 聞くこと ア (3) 話すこと [やりとり] イ
(5) 書くこと イ

OCAN-DO リストと Lesson Goal

N中学校では、CAN-DO リストを反映した Lesson Goal を設定し、生徒がその単元での学習内容を把握し、見通しを持って取り組めるようにしています。

NEW HORIZON English series 2 のUnit1では、「新学期セール」を題材にBe 動詞の過去形と過去進行形を学習します。また、Unit2では未来形、call/show (人) (もの)を学習しますので、Unit2 終了段階で、次のように CAN-DO リストを設定しています。

※N中学校 CAN-DO リストより抜粋。本単元では3観点に絞って、CAN-DO リストを作成しているので、ここではReadingは割愛しています。

	Speaking(Interaction)	Writing	Listening
学習到達目標	<p>◆身近な話題について、状況に応じた適切な表現を使ってやり取りできる。</p> <p>◆準備する時間やメモがあれば、体験したことなどについて、まとまりのある4文以上の英語で紹介することができる。</p>	<p>◆文章構成の例を参考にすれば、自分や身近な人や事柄について、4文以上のまとまりのある英語で紹介文などを書くことができる。</p>	<p>◆聞き取りの観点が与えられ、適切な速さで2度繰り返されれば、身近な話題についての5文程度のものについて、重要な情報を正確に理解することができる。</p>

指導単元と評価規準	商品を売るための CM 制作で、4 文以上の英語で、自分たちが表現したいセールスポイントを紹介することができる。 (Unit 1 /Unit2 2 つの単元を通して)	商品を売るための CM 制作で、4 文以上の英語で、自分たちが表現したいセールスポイントを書くことができる。 (Unit 1 /Unit2 2 つの単元を通して)	友達の作った CM を見て、商品の PR ポイントを正確に聞き取り、自分が買いたいと思う商品を決めだすことができる。 (Unit 1 /Unit2 2 つの単元を通して)
-----------	--	--	--

単元終末で、子どもたちの表現をより豊かなものにするために、生徒がどんなやり取りをするかについて、単元展開を考えることが大切です。そこで、N中学校では、Unit1, Unit2 の Lesson Goal を「商品を売るためのコマーシャルを制作し、学習した表現を用いてセールスポイントを表現できるようになる」としました。教科書の Unit1 Get1 にある「新学期セール」の本文を読んだ際に、生徒に Lesson Goal を伝えておき、各単元の学習を進めました。そうすることで、生徒は、今学んでいる表現をどのように使っていくのか、またこの単元でどのような力をつけたいのか考え、Lesson Goal を意識しながら学習に取り組むことができました。

単元展開

NEW HORIZON 2 年 単元名：Unit1 A Friend in a Sister School Unit2 A Trip to the UK

時	学習活動	留意点
Unit1 1	・ Back to school sale について学習し、単元の内容を知り、見通しをもつ。	・ 商品のセールスポイントに着目した Lesson Goal を設定する。
Lesson goal : 商品を売るためのコマーシャルを制作し、学習した表現を用いてセールスポイントを表現できるようになる。		
2	・ Be 動詞の過去形の練習	・ セールで買い物をするやり取りを通して Be 動詞過去形が定着するよう配慮する。
3～5	・ 教科書等を使った学習	・ 過去進行形の導入・練習 ・ 教科書の内容を大まかに理解できるようにする。
6～7	・ 過去進行形で作文・発表	・ 「Scary Story」で昨日の夢の様子を英文にし、ペアで演じながら発表することで、過去進行形の理解を図る。
8～10	・ 教科書等を使った学習	・ look の導入・練習 ・ 教科書の内容を大まかに理解できるようにする。

Unit2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形復習 ・未来形の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit1 で作成したセールよりも、さらにお買い得なセールの広告を出すことを目的に、未来形の意味を想起し、理解することができるようにする。
2～3	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書等を使った学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・未来形練習 ・教科書の内容を大まかに理解できるようにする。
4～5	<ul style="list-style-type: none"> ・Show の導入・練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・入国審査の場面で、show を用いた表現の仕方を、ペアとのやり取りを通して理解する。
6～7	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書等を使った学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・show, give, buy, teach の練習 ・教科書の内容を大まかに理解できるようにする。
8～9	<ul style="list-style-type: none"> ・call の導入・練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で書かれたガイドブックを友達と読みあう活動を通して、call の意味を想起し理解する。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書等を使った学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容を大まかに理解できるようにする。
11 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・商品売るためのコマーシャルを制作する。 <p>◎Today's Goal(Lesson Goal) 「商品売るためのコマーシャルを制作し、学習した表現を用いてセールスポイントを表現できるようになる」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識しながら、文章を構成したり、伝え方を工夫したりする。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・CMを発表したり、他の班のCMから情報を聞き取ったりする。 ・単元を振り返る。 	<p>自分たちで考えたコマーシャルをタブレット端末で撮影し、そのコマーシャルを見合っ て、自己・相互評価。</p>



ここがポイント！

CAN-DO リストでは、どの段階で、どのような力をつけるのか明確になっています。つけたい力が決まっていれば、単元の Lesson Goal を設定することも容易になります。CAN-DO リストを反映した Lesson Goal を設定し、「この時間でどんな力をつけたのか」教師側が目的意識をもって学習を進めていくことが、生徒の主体的な学びの姿にもつながっていきます。

○生徒が Lesson Goal を達成するための「場面設定」

Lesson Goal を設定し、生徒が主体的に学び、力をつけていくためには、生徒が「学んだ表現を使って、英語で伝えたい」と意欲をもち、Lesson Goal を達成しようとするための「手立て」が必要になります。そこで、生徒にとって「英語を用いて自分の思いを伝えたい」という思いがわき出るような、必要感のある場面を設定することで、相手意識を高め、自己表現する力を高めたいと考えました。この Lesson Goal 達成の場面では、「各グループで制作したTVコマーシャルを実際にタブレット端末で撮影し、そのコマーシャルを見合って、どの商品を購入するか決定する」という場面を設定することで、



コマーシャルを見る相手に伝わるように書くこと・話すことへの意欲関心を高めるよう工夫しました。

モデルスキットは、実際に教師が制作したコマーシャルを見せました。コマーシャルに使用する英文を提示しながら、生徒の制作に対するイメージや意欲を持たせるようにしました。

**ここがポイント！**

生徒が「英語を用いて伝えたいと思う相手」をどう設定するかは、いつも悩みどころです。ALT や教科書のキャラクター、インターネットを通じた海外の友人等が考えられますが、N中学校の実践では、「TVコマーシャルを見る相手」というように、特定の人ではなく、制作した動画を見るだろう人を意識させて「相手意識のある場面設定」を仕組みました。このような視点で見れば、海外の人が見るブログに載せる英文を書く…といった様々なかたちの「英語で伝えたい相手」を仕組むことができます。

○Lesson Goal の達成が CAN-DO リストの達成につながる

右の写真は、コマーシャルで紹介する商品を、実際に手にとって、グループの仲間と「セールスポイント」について相談している様子です。このグループは、ストレッチ用のゴムバンドを宣伝するコマーシャルの英文を次のように書き終わりました。



【生徒作品】

We are going to show you an exercise stretch band. We call it “Muscle Magic”. You can use it in many ways. For example, upper arm exercise. This “Muscle Magic” was 1250 yen yesterday. Now it’s 1000 yen. Now you can get “(Friend’s name)” too. And the postage is free! Wow! Don’t miss this sale!

(Writing: 下線部は Unit1, 2 で学習した表現)

生徒のワークシートから、単元を通して学習内容がどこまで定着したのかを見て取ることができます (Writing)。次の時間には、実際にタブレット端末でコマーシャルを撮影しました (Speaking)。撮影したコマーシャルをクラスで見合い、商品のポイントを聞き取って (Listening)、どの商品を買うのか未来形で表現し、単元を終了しました。Lesson Goal を設定したことで、自分が伝えたい内容を、既習表現を用いて表現しようとする生徒の姿が見て取れました。

また、別のグループでは、Unit1 の段階では

It was 500 yen yesterday, but it’s 100 yen.

と表現していましたが、Unit2 の終末の段階では

It was 500 yen yesterday, but it’s 100 yen. And it is going to be 50 yen tomorrow!

と付け加えられるようになりました。このように Lesson Goal を設定していけば、今学んでいる英文をどう使えばいいのか、既習表現を使って、自分の思いをどう表現すればいいのか、生徒自身が考えながら学習を進めることができました。



ここがポイント！

評価をする時には、生徒のポートフォリオを活用しますが、この授業では、タブレット端末で撮影したことで、生徒の Speaking でのやり取りを保存しておくことができました。普通なら難しい生徒同士のやり取りを評価できますし、生徒が見返し、自己評価をすることもできます。また、ワークシートには Writing だけでなく、各商品のポイントを聞き取ってメモをし、自分の買いたい商品を未来形で表現する枠を設け、Listening の評価もできるよう工夫しました。

まとめ

Lesson Goal に CAN-DO リストを反映することで、生徒と教師が Goal を共有でき、「つけたい力」をどこまで伸ばせたのか、単元の終末で評価ができます。Lesson Goal が達成できれば、CAN-DO リストで設定した力がついたことがわかります。

本時案

(1) 主眼

Be 動詞の過去形や未来形, show や call の用法について学んできた生徒が, TV コマーシャルを制作する場面で, グループで製品を説明する文を考えたり, 聞き手に対する上手な伝え方について話し合ったりする活動を通して, TV コマーシャルを見る相手を意識しながら, 既習表現を活用した説明文を書くことができる。

(2) 本時の位置 12時間扱いの第11時

前時: Unit2 Read and Think2 を読み, 内容の確認をした。

次時: 実際にコマーシャルを撮影し, 撮影したコマーシャルを全員で見合い (発表), 買いたい商品を未来形で説明する。

(3) 展開

	学習活動	予想される生徒の反応	教師の指導・援助・評価	時	備考
導 入	1, Greeting Feeling,(Date)	・元氣よく挨拶するだろう。	◇Interaction も交える	1	・カード
	2, Today's goal を提示する			4	
Today's Goal: 学習した表現を使って, 商品を売るためのTVコマーシャルを制作しよう!					
展 開	3, TV コマーシャルを見る。 (model skit) ① Listen and take notes. ② Check the contents	・面白いコマーシャルだな。商品が買いたくなるようなコマーシャルを作ろう。 ・未来形や show や call はああいう風に使えばよかったな。 ・今までの既習表現を使っていけばコマーシャルの文章が作れるぞ。 ・大体の内容は聞き取れた。	◇Today's goal の goal はどういうものであるのかが伝わる model skit を提示する ◇生徒が大まかな内容を捉えることに重点を置く	10	・ワークシート ・モデルスキットの映像
	4, モデル文を練習する ① Reading ② Pair work	・今まで学習した基本文を練習するんだな。 ・友達に show や call を使って商品を説明するんだな。	◇スキットで用いてほしいターゲットセンテンスを中心に練習する ◇ペアワークの内容でグループでの制作の内容を想起させる	10	・映像 ・ワークシート
ま と め	5, グループでTVコマーシャルの制作に入る ①スキットを作成する ②撮影のための役割分担をする	・ペアで練習した文法や英文を使って, 文章を作成すればいいんだな。 ・Aさんが作った文章は面白いから, 映像にとる時は強調して話そう。	◇商品の説明に生徒の伝えたい内容が入ってくるよう助言する ◇聞き手を意識した英文, 発表になるようにグループで話し合うよう促す	20	・ワークシート ・タブレット
	6, 良かった英文を紹介する 7, Greeting		[評価] モデル文を参考にして, 聞き手を意識しながら, 伝えたい情報を書くことができている。 (ワークシート)	5	